

八王子市の産業振興



八王子市 産業振興部

平成23年2月12日

～目次～

<u>八王子市の産業の特色</u>	P 1
1 - 1 歴史的経過と背景	P 2
1 - 2 宿場町から発展	P 3
中心市街地の主な地名等	P 4
1 - 3 織物のまち	P 5
1 - 4 交通の要衝	P 6
1 - 5 合併による市域の拡大	P 7
1 - 6 豊かな自然環境	P 8
<u>八王子市の産業の現状と課題</u>	P 9
2 - 1 (1) 数字で見る産業の現状と課題	P 10 ~ 12
2 - 4 (2) 産業振興施策 製造業	P 13・14
2 - 6 (2) 産業振興施策 商業	P 15
2 - 7 (2) 産業振興施策 観光	P 16 ~ 19
2 - 11 (2) 産業振興施策事例 農業	P 20・21
2 - 13 (2) 産業振興施策事例 雇用・就労	P 22
<u>八王子市の産業振興の方向性</u>	P 23
3 - 1 八王子市の産業振興の方向性	P 24 ~ 27

・八王子市の産業の特色

1 - 1 . 八王子市の産業の特色

歴史的経過と背景

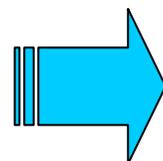
1 . 宿場町から発展

「中心市街地」を形成

2 . 織物のまち

製造業（ものづくり）
中小企業の集積を形成

3 . 交通の要衝



「交通結節点」を形成

4 . 合併による市域の拡大

市内に複数の地域拠点を形成

5 . 豊かな自然環境

産業資源としての観光・農林業

1 - 2 . 八王子市の産業の特色

1 . 宿場町から発展

江戸時代初期 ~

甲州街道（国道20号）沿道

（八幡町・八日町・横山町）「八王子宿」として繁栄



現在の「中心市街地」につながる

商業集積を形成

昭和 ~

鉄道開通により駅周辺が発展

・ 明治22年（1889年）甲武鉄道（JR）新宿 八王子間開業

八王子駅は現在の明神町・都合同庁舎付近

・ 大正14年（1925年）玉南電気鉄道（京王線）府中 東八王子（京王八王子）間開業

東八王子駅は現在の明神町・国道20号付近

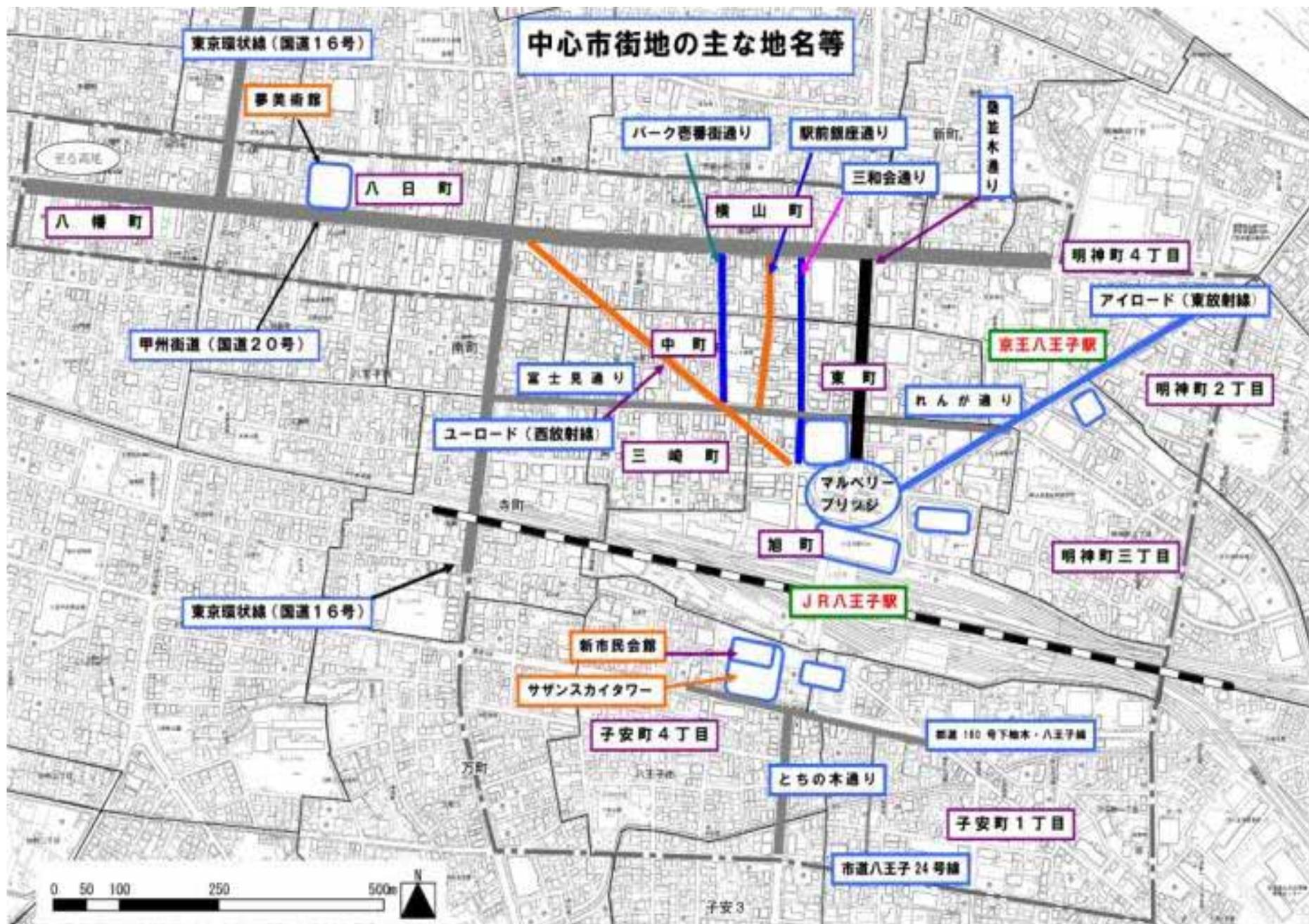
現在

駅前を中心に、商業集積に加えて飲食・小売・オフィス業務施設の

集積が進む



竣工した八王子駅南口再開発事業



1 - 3 . 八王子市の産業の特色

2 . 織物のまち

～ 江戸時代後期

桑都「八王子」：関東甲信越からの養蚕・生糸・絹織物の集積地

明治 ～ 昭和20年代

「絹の道」を通じて、横浜港から海外輸出への起点に

- ・ 明治30年代：「集積地」から「生産地」へ発展
- ・ 昭和20号年代半ば：「ガチャ万景気」と呼ばれる好況期



昭和30年代後半 ～ 昭和50年代

区部・京浜工業地帯からの工場移転  中小企業の集積

- ・ 織物業の衰退で、織物工場が電気機械器具の工場に転換

昭和50年代 ～ 平成

最先端の技術を持つ“ものづくりのまち”へ

- ・ 大手企業からのスピンオフ創業
- ・ 大手企業の生産拠点が海外へ移転、国内施設の研究開発拠点化が進む
- ・ 製品開発・開発支援型の高い技術力を有する中小企業が集積



1 - 4 . 八王子市の産業の特色

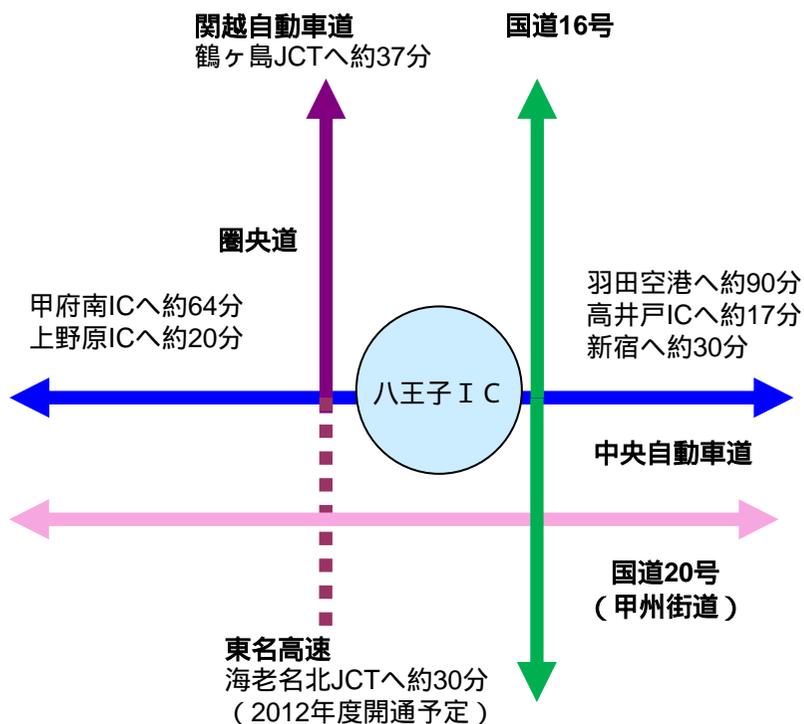
3 . 交通の要衝

道路・鉄道などの交通インフラ整備により、
「交通結節点」として発展

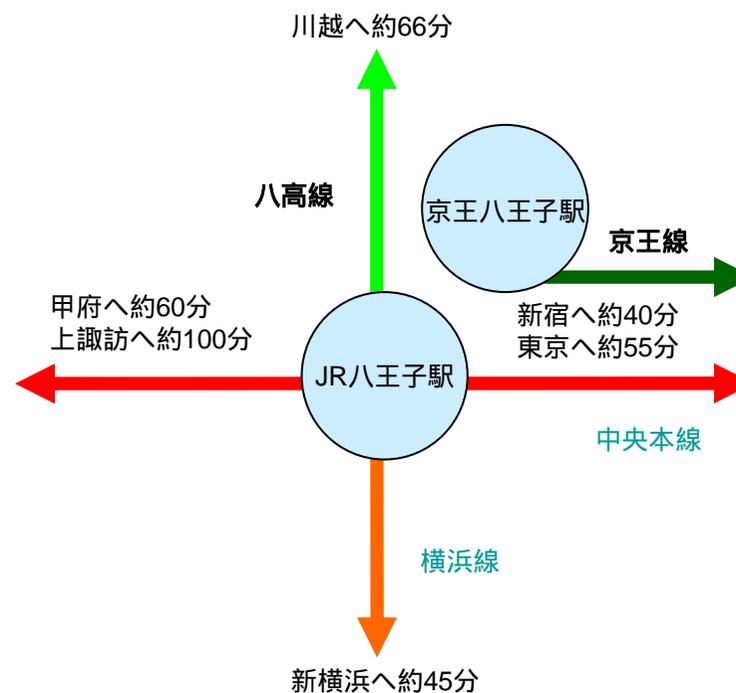
- ・昭和42年（1967）：中央自動車道 調布 八王子間開通 全線開通は昭和57年（1982）
- ・平成19年（2007）：圏央道 八王子 あきる野間開通 平成23年度八王子 八王子南開通予定



交通アクセス



鉄道アクセス



1 - 5 . 八王子市の産業の特色

4 . 合併による市域の拡大

大正～昭和30年代

大正6年市制施行以降、近隣町村との合併で市域が拡大



人口の増加・市内に複数の地域拠点を形成



八王子市の人口の推移

単位：万人

昭和20年	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成10年	平成20年	平成23年
6.3	9.5	20.2	30.2	41.2	50.0	54.4	55.4

「八王子ゆめおりプラン」



1 - 6 . 八王子市の産業の特色

5 . 豊かな自然環境

都心に隣接しながら市内の約60%が緑に囲まれる、豊かな自然環境

産業資源としての観光・農林業

- ・ 高尾陣馬自然公園（高尾山）
- ・ 多摩丘陵自然公園（絹の道）
- ・ 農業・林業
- ・ 滝山自然公園（滝山城跡）
- ・ 秋川丘陵自然公園（今熊山）



ダイヤモンド富士
例年冬至の頃、高尾山頂から富士山頂に
夕日が沈む現象を見ることができる



早春の東横山橋から高尾を望む

・八王子市の産業の現状と課題

2 - 1 . 八王子市の産業の現状と課題

(1) 数字で見る産業の現状と課題

製造業と商業

法人市民税収入額

「事業所統計調査」平成18年

「市税白書」平成22年度版

- ・ 市内事業所18,895事業所の99%は中小企業
- ・ 市内の事業所数は、製造業 (15.0%) と商業 (52.1%) の 2 業種で、全体の67.1%を占める
- ・ 平成21年度の八王子市の法人市民税収入額52億円のうち、製造業 (39.0 %) と商業 (35.2 %) の 2 業種で、全体の74.2%を占める



製造業・商業の振興で、安定した税収を確保

2 - 2 . 八王子市の産業の現状と課題

製造業

平成21年「工業統計調査」速報値

製造品出荷額

・ 八王子市は、4,095億7,500万円 市部で第3位！

1位：府中市	7,429億7,700万円
2位：日野市	4,547億3,600万円

出荷される製造品は、業務用機械、生産用機械、電子・デバイス、電気機械が上位を占める

商業

平成19年「商業統計調査」

()内は対前回調査(平成16年)比

小売業年間商品販売額

・ 八王子市は、5,685億7400万円 市部で第1位！

2位：町田市	5,048億4,000万円
3位：立川市	2,951億7,400万円
4位：武蔵野市	2,814億7,500万円

2 - 3 . 八王子市の産業の現状と課題

観光

観光入込客数

平成20年度「交付税算定資料」

市内の都立自然公園への入込客数は、3,051,467人

高尾・陣馬	: 2,968,479人	滝山	: 33,033人
多摩丘陵	: 39,787人	秋川丘陵	: 10,168人

農業

農業産出額

「多摩の農業統計」平成20年

八王子市の農業は、都内第1位！

- ・ 農業産出額 : 28億1,000万円 (東京都全体 : 295億5,000万円)
- ・ 耕地面積 : 918ha (東京ドーム196個分) ・ 農家戸数 : 1,435戸

林業

東京都森林事務所調べ

市内の森林面積

市内森林面積7,841ha (市内面積の42%) のうち、民有林85%、国有林15%

市内の森林のうち、スギ・ヒノキなどの人工林が63% (4,912ha)

2 - 4 . 八王子市の産業の現状と課題

(2) 産業振興施策

製造業

課題：企業誘致、技術支援、販路開拓、創業支援、人材育成

企業誘致「いきいき企業支援条例」（平成16年4月施行）

有力企業の誘致による税収・雇用の確保のための企業立地優遇制度

実績：条例による指定 計 52件 平成22年12月末現在

新規雇用創出 計 2,440人

単年度税収見込 計 11億7,000万円

中小企業の技術開発・販路開拓支援

- ・「先端技術センター・ものづくりセンター」（共同研究施設）

実績：延べ8グループが利用

うち、5グループが研究開発に成功、4件が事業化

- ・「先端技術センター・開発交流プラザ」（技術相談・ビジネスマッチング）

大手メーカーOBの相談員が常駐し、技術相談に対応



オリンパス
技術開発センター石川

2 - 5 . 八王子市の産業の現状と課題

創業支援

「本気の創業塾」「スピノフ創業塾」

実績：参加者 219人 うち、49人が創業



はちおうじ未来塾

産業人材育成

(平成17～22年度)

- ・中小企業の後継者育成セミナー「はちおうじ未来塾」

実績：卒業生 33人 (平成19～21年度)

- ・中小企業の魅力発信インターンシップ「3日間社長のカバン持ち体験」

実績：参加学生 121人 (平成17～22年度)

産業人材活用

企業OBによる中小企業支援「ビジネスお助け隊」

- ・中小企業の経営相談に、培った知識を活かしてボランティアに対応

実績：相談・経営支援実績 445件 (平成17～21年)

その他、八王子市「雇用維持奨励金」、「本気の創業塾」など、多くの事業において、中小企業への“伴走型支援”に尽力！

2 - 6 . 八王子市の産業の現状と課題

商業

課題：中心市街地活性化、個店・商店街支援による商業振興

八王子市の顔・地域拠点としての「中心市街地地区」

・八王子駅南口再開発に併せた、新たな「中心市街地活性化基本計画」策定

・八王子駅の南北一体となったまちづくりの推進

「マルベリーブリッジ延伸」「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」
「南口周辺まちづくり構想」など

個店支援：あきんど講座

個店の魅力アップ・経営ノウハウ支援、後継者の人材育成

実績：あきんど講座修了生 110人（平成16～22年度）

商店街支援：はばたけ商店街補助事業

商店街の創意工夫による活性化事業に補助金を交付

実績：イベント事業34事業 活性化事業3事業（平成21年度）



2 - 7 . 八王子市の産業の現状と課題

観光

観光の中心は自然環境

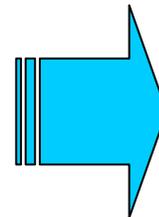
高尾山・陣馬山

- ・高尾山薬王院の存在により自然保護
- ・京王線乗り入れで観光地化
- ・中高年の健康ブームでハイカー増
- ・ミシュラン三ツ星で外国人増
- ・若者のアウトドアブーム ・パワースポット

多種多様な観光資源の存在

自然・歴史・文化・人・産業

- ・山、川、丘陵、公園など
- ・八王子城跡、滝山城跡、絹の道など
- ・車人形、織物、美術館、音楽、大学
- ・ゆかりのある著名人
- ・企業、商店、農業、医療など



八王子まるごと観光



多摩地区でも、これだけの資源が揃うのは、八王子ならでは！

2 - 8 . 八王子市の産業の現状と課題

八王子の観光の課題

- ・ 自然を活かした観光客の集客は、春・秋・正月に集中
- ・ 八王子全体の観光産業を活性化させ、年間を通じた集客
- ・ 高尾山からまちなかへの誘導・分散

もてなしの環境整備：高尾山のトイレ対策

課題：ハイシーズンのトイレ不足、衛生面の改善

対策：管理者である東京都に対し、トイレの増設を要望

観光協会・地元事業者による仮設トイレ設置を支援

もてなしの環境整備：高尾山ボランティアガイド

課題：来訪者の満足度の向上、リピーターの確保

対策：八王子観光協会「ボランティアガイド」の養成、

ツアー実施を支援



高尾山頂仮設トイレ



ボランティアガイド・ツアー風景 17

2 - 9 . 八王子市の産業の現状と課題

魅力の発信：八王子フィルムコミッション

課題：八王子の観光資源の魅力発信と活用

対策：映画やドラマの制作担当へロケ地の情報を発信

迅速なロケ対応とロケ実績のPR



フィルムコミッション・ロケ風景

魅力の発信：外国人観光客誘致

課題：交流人口の増加

対策：海外友好交流都市への観光PR

東京観光財団を通じた海外への観光PR

外国語観光パンフレットの発行



台湾・高雄市での観光PR風景

2 - 10 . 八王子市の産業の現状と課題

観光資源の活用：江戸東京まちなみ情緒の回生

課題：八王子の観光資源の魅力発信と活用

対策：かつての織物のまちの風情を、中町の黒塀と石畳の道路整備で一部復活



整備後の中町の一角

交流拠点の整備：夕やけ小やけふれあいの里

課題：交流人口の増加、資源の魅力発信と活用

対策：四季折々のイベントや花の見どころなどの充実
安全に楽しめる施設整備



クリスマスイルミネーション

2 - 1 1 . 八王子市の産業の現状と課題

農業

課題：地場産品販売の場の確保、後継者問題

道の駅八王子滝山運営

平成19年4月、都内初の“都市型”道の駅を開設

- ・ 地場産品の提供を通じ、食の安全・安心に応える
- ・ 農産品が売れることで、農家のやる気を醸成
- ・ 良好な休憩の場及び地域情報の提供



ターゲットはリピーター

実績：販売額

平成19年度	9億8,000万円	平成20年度	10億7,000万円
平成21年度	10億9,000万円	平成22年度（～12月）	8億9,000万円

「道の駅アクセスランキング」では、常にランキング上位！

「未知倶楽部アクセスランキング2010年12月」2位



道の駅八王子滝山

2 - 1 2 . 八王子市の産業の現状と課題

農業塾の開講（平成23年度）

人出不足の農家への支援策として、農業塾を開講

- ・ 農業の知識と実践の機会を提供
- ・ 研修修了生に耕作放棄地を貸付け、「農家直営農園」の経営を支援
- ・ 農家がNPO等に農作業を委託して、農業経営を支援



農業体験：大根の種まき



国の「緊急雇用創出事業補助金」を活用した林道整備



夏の風物市「あさがお市」開催



牧場（寺田町）

2 - 1 3 . 八王子市の産業の現状と課題

雇用・就労

「しごと情報館」の運営（ハローワーク八王子との共同運営）

- ・ 職業相談・紹介、心理カウンセラーによる、しごとに関する悩みごとのカウンセリングを実施
- ・ 「新卒応援ハローワーク」を併設（平成22年11月）

都内は六本木と八王子の2か所に設置



しごと情報館

「就職面接会」の開催（ハローワークとの共催）

- ・ 39歳以下の若年者を対象とする就職面接会

「きりひらけ、自分！」を開催

平成21年度実績

実績：4回開催 参加者数 379名 就職者数 36人



「きりひらけ、自分！」面接会
（平成22年12月）

「緊急雇用対策本部」：国に先駆け平成21年2月設置、雇用対策を推進

「雇用対策連絡会」：平成21年2月設置、市と労働関係機関・金融機関などで構成、地域一体で雇用対策に取り組む

・八王子市の産業振興の方向性

3 - 1 . 八王子市の産業振興の方向性

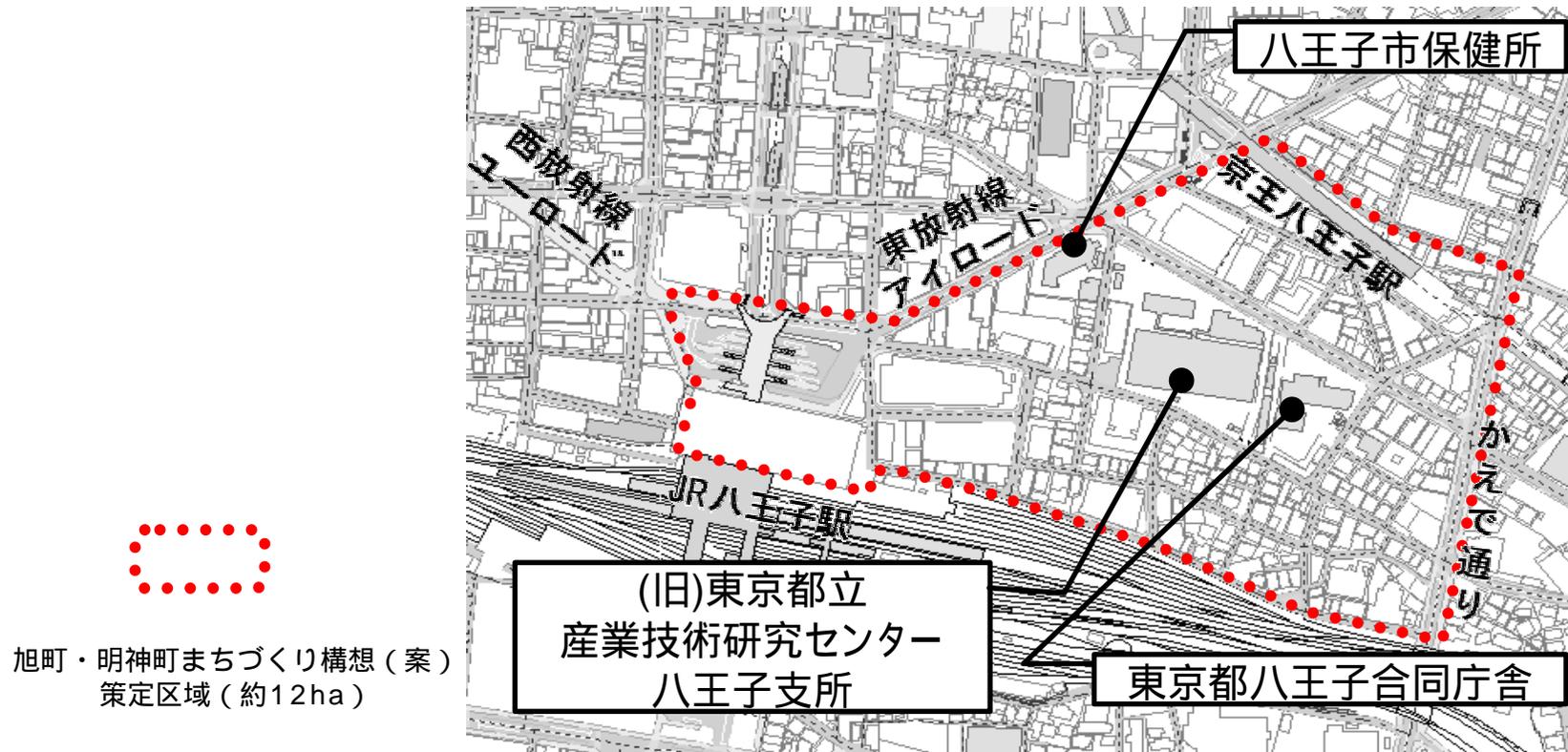
1 . 「新たな産業を生み出す、日本のものづくりの最前線」

～新しい産業を生み出すために必要なモノが、すべてそろっているまち～

東京都が進める産業交流拠点（明神町）の整備（～平成28年度）

「旭町・明神町まちづくり構想」

八王子市と産業支援機関による産業支援体制の確立



3 - 2 . 八王子市の産業振興の方向性

2 . 「中心市街地活性化の推進」

地域拠点としての「中心市街地地区」において、
新たな「中心市街地活性化基本計画」に基づき、活性化施策を推進

八王子駅南北一体のまちづくりの推進

「旭町・明神町まちづくり構想」「南口周辺まちづくり構想」



3 - 3 . 八王子市の産業振興の方向性

3 . 「八王子 交流創出型・国際観光都市づくり」

もてなしの環境整備（東京多摩国体：平成25年）

教育・医療・スポーツ・産業などの様々な分野で「交流」を創出

自然・歴史・文化・人・レジャーなど、八王子の特性を活かした

観光まちづくり

4 . 「多種多様な農畜産物生産を活かした都市型農業」

多様な担い手の確保と育成

つくる、売る、やりがいのある活力農業の展開

農地の有効利用と農業生産環境の維持

市民と進める都市農業と緑・交流のまちづくり

食の安全・安心の確保、地産地消の推進

施策の計画的な推進

3 - 4 . 八王子市の産業振興の方向性

**“既存の産業資源を活かし、外から呼び込み、
新たな産業を創出する”**